

An aerial photograph of a sprawling urban landscape, likely Osaka, Japan. The city is densely packed with buildings, interspersed with green parks and a winding river. The perspective is from a high altitude, looking down on the city. The text is overlaid on the center of the image.

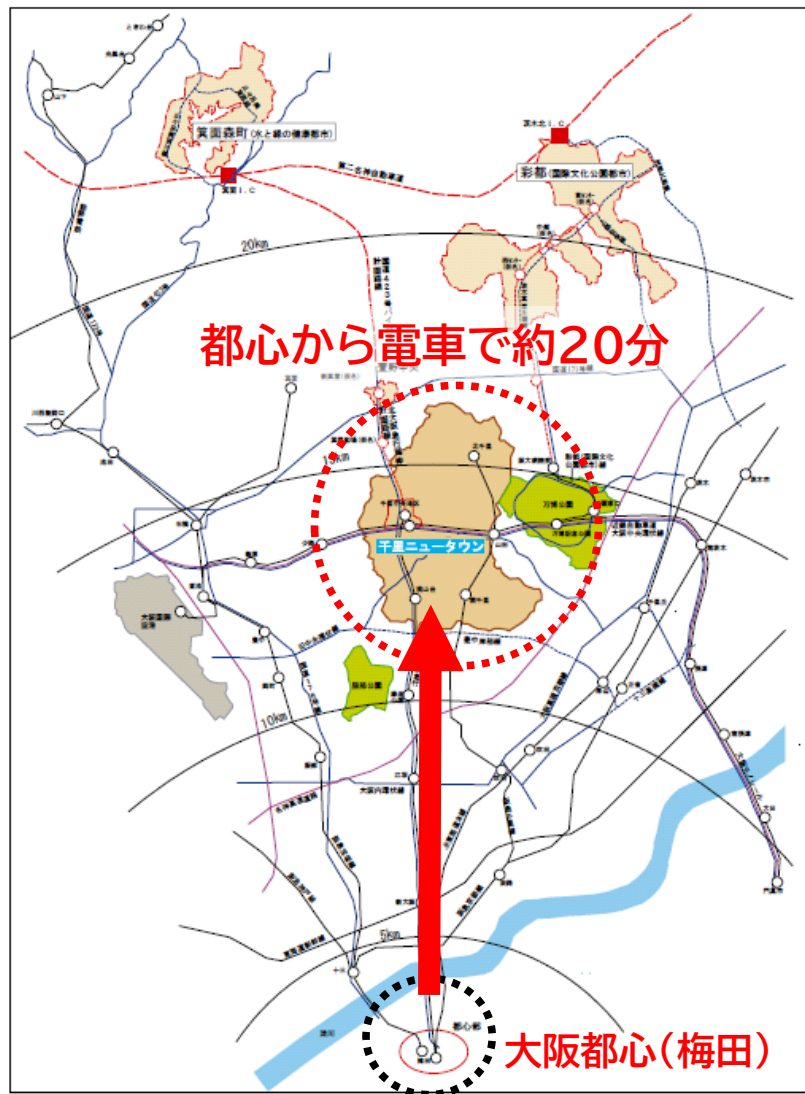
千里ニュータウンの紹介

2026年8月20日

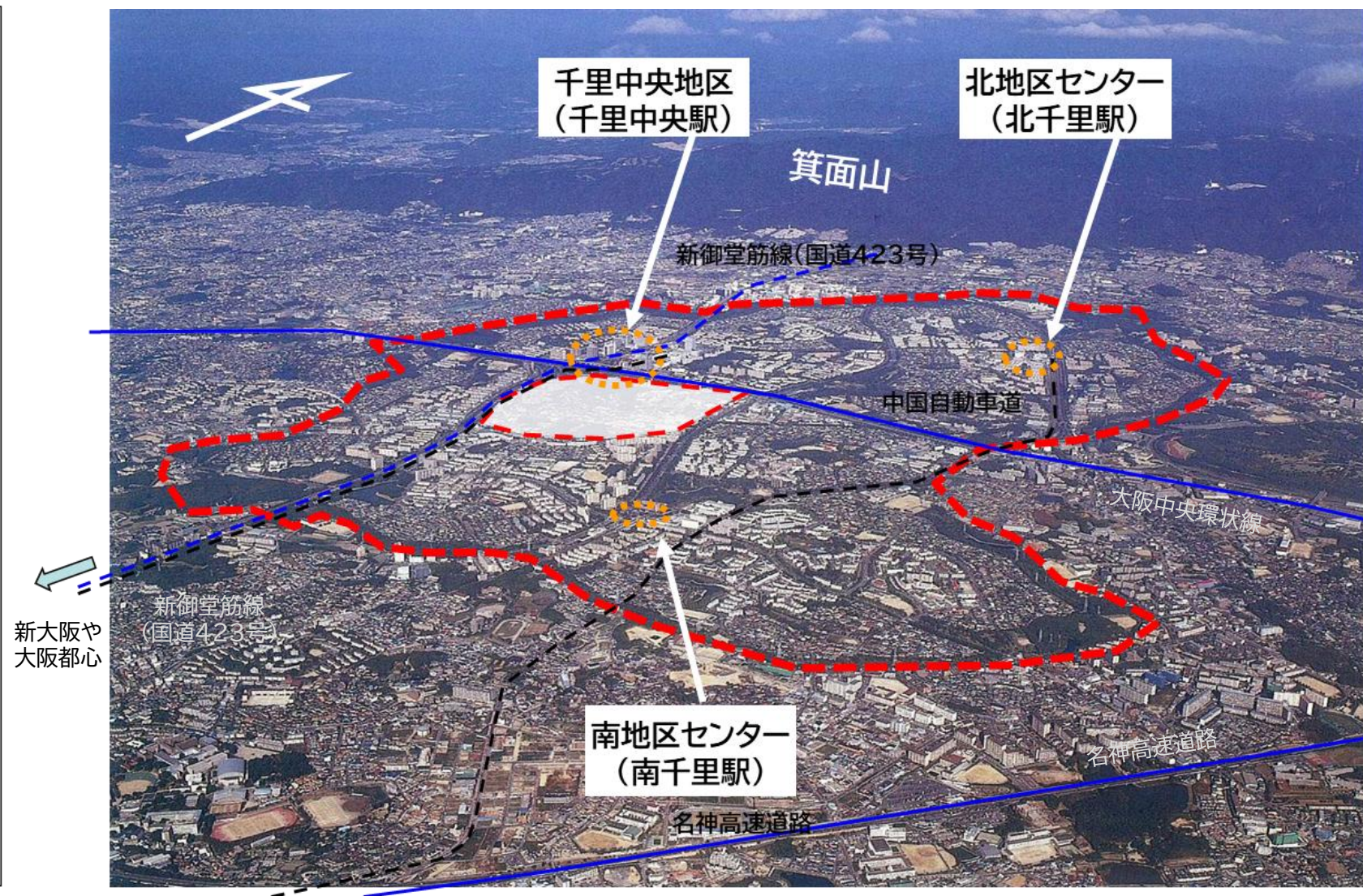
大阪都市計画局拠点開発室
戦略拠点開発課ニュータウン再生グループ

千里ニュータウンの概要

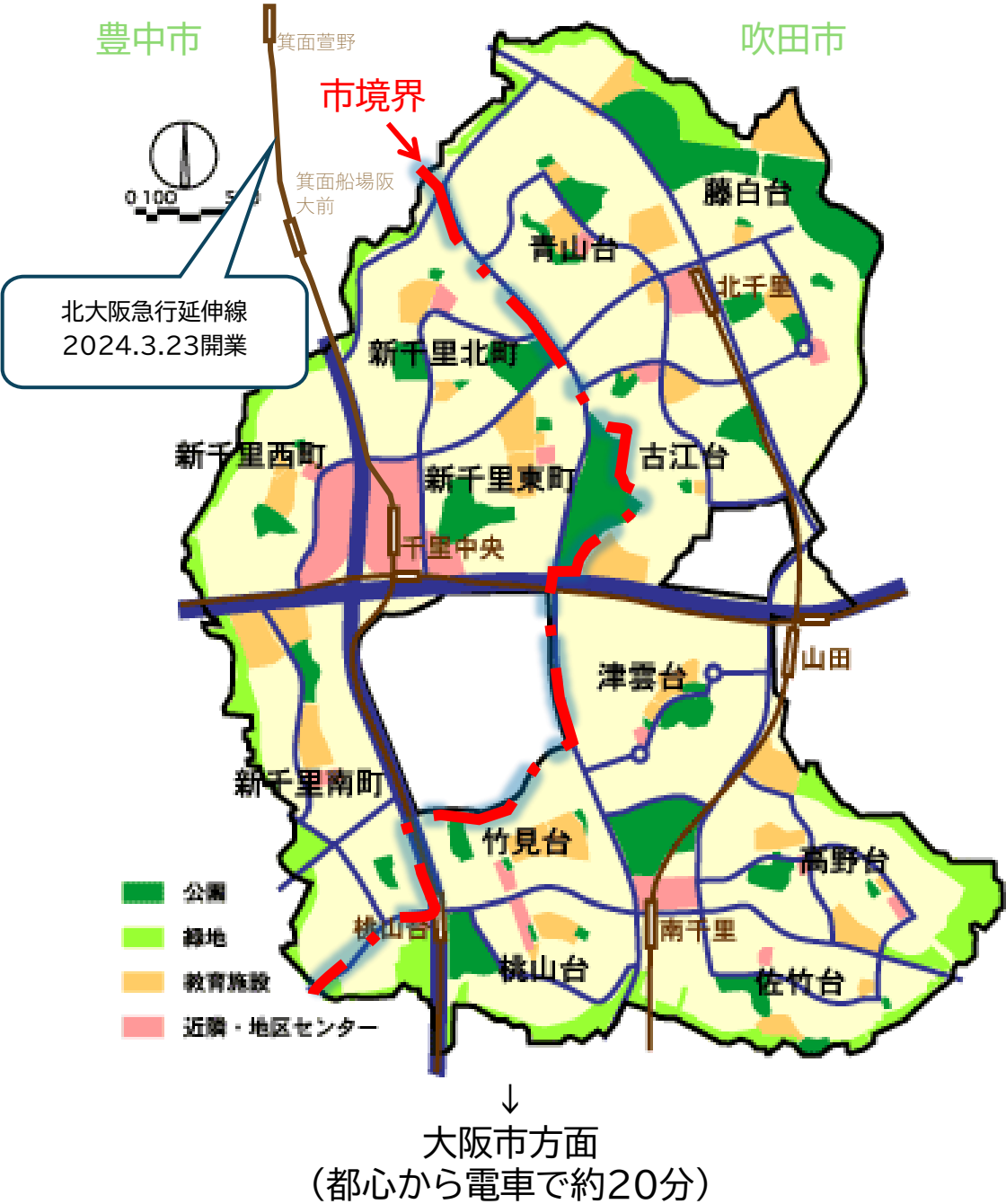
位置図



千里ニュータウン全景



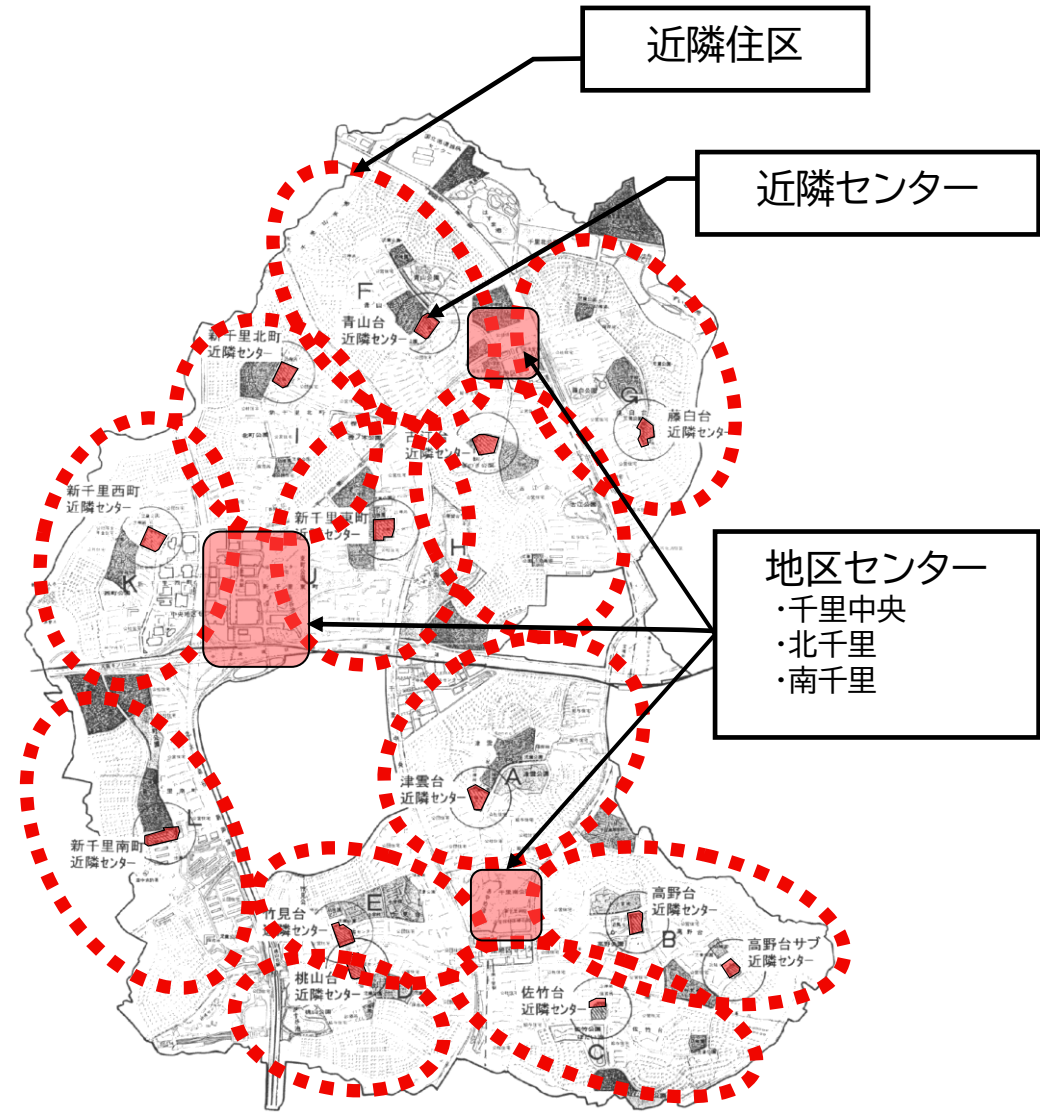
千里ニュータウンの概要



事業期間	1960年10月～1970年3月	
事業主体	大阪府企業局 (1960～2006年)	
事業手法	一団地の住宅施設経営(当初) 新住宅市街地開発事業 (1963年法整備)	
開発面積	1,160ha	
市域別面積	吹田市域:791ha	
	豊中市域:369ha	
計画人口	150,000人	
住宅建設戸数	37,330戸	
現状	人口	103,855人(R4.10)
	世帯	48,577世帯(R4.10)
	高齢化率 (65歳以上割合)	28.9%(R4.10)

千里ニュータウンの特徴

- ◆ 全面買収方式によるニュータウン開発
- ◆ 都市計画法の一団地の住宅経営及び新住宅市街地開発法により開発
- ◆ 近隣住区論を採用して構成された住宅都市
- ◆ 生活利便機能として、地区センター、近隣センターを各住区に配置



近隣住区論に基づく千里ニュータウンの構成
(12の住区構成)

千里ニュータウンの特徴

【大阪のまちづくりグランドデザイン(大阪府・大阪市・堺市)〔令和4年12月策定〕】

戦略 01 成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

2) 大阪の中核を担う拠点エリア

北部大阪 中枢エリア <北部大阪の成長・発展をけん引するエリア>

万博公園をはじめとしたみどり豊かな資源やゆとりある住環境、学術・研究施設の集積、幹線道路・鉄道・バス路線等の充実した交通ネットワークに加え、北大阪急行の延伸や世界最先端の機能を有するアリーナの整備、さらには、リニア中央新幹線・北陸新幹線などの将来の基盤整備を見据え、多様な人々を呼び込む魅力的な都市空間と良好な住環境を備えた北部大阪の成長・発展をけん引するエリアの形成をめざします。

- 千里中央地区における高次都市機能の導入やターミナル機能の強化等による中核的な都市拠点の形成
- 北大阪急行延伸に併せた各駅周辺におけるまちづくりの推進
 - ・箕面船場阪大前駅周辺地域における文化芸能・国際交流拠点の形成とヘルスケア産業の集積促進
 - ・箕面萱野駅における新たな交通結節点としての機能の充実
- 大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点の形成
- 千里ニュータウン内の公的賃貸住宅活用を地を活かした地域のまちづくりに資する都市機能の導入や先導的な住宅・住宅地の整備、近隣センターの再生など、みどり豊かで魅力ある住環境の整備
- 北千里駅周辺の再整備など、主要駅周辺の拠点性の向上や沿線の活性化
- 広域交通ターミナルとなる新大阪駅直結のポテンシャルを活かしたまちづくり など

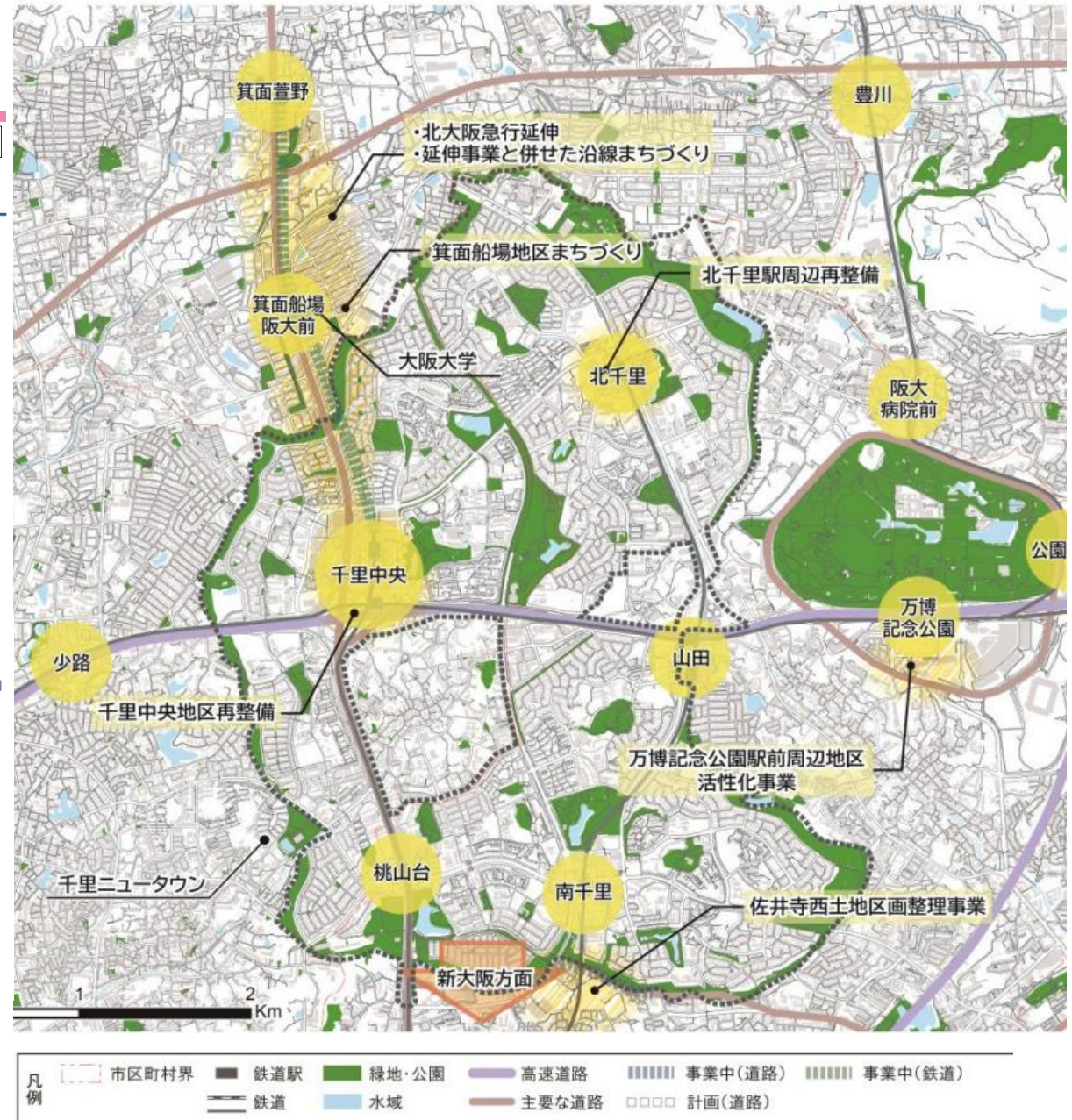
戦略 02 大阪ならではの魅力を活かし、暮らしやすさNo.1都市を実現

大阪の「都心部周辺」や「郊外部」は、都心部から各地域に延びる鉄道路線に沿って住宅供給がなされ、駅周辺を中心に一定の生活圏が形成されてきました。豊かな自然環境、歴史・文化・景観資源などを身近に感じることができるに加え、大阪の都心部まで駅から30分以内程度の時間で移動することができる地域が多く、また、神戸・京都・奈良・和歌山など周辺都市へのアクセス利便性も非常に高い特徴があります。

今後、テクノロジーの進展などによりライフスタイルが更に多様化していく中で、大阪が持つ自然環境などの地域資源と、大阪都心部などへのアクセス性の良さという特徴を最大限に活かしたまちづくりを、地域の多様な主体が共創し自立して進めることで、“新しい郊外”の創造をはじめ、様々なニーズに応じた新たな職住遊のライフスタイルを先導する「暮らしやすさNo.1」の都市をめざし、他の戦略の取組と相互連携して、各地域のまちづくりを進め、大阪全体の成長・発展につなげます。

◆ 過去から、都市政策上の位置付けがある

◆ 交通利便性が高い



官民連携による都市公園の再整備

■千里中央公園再整備

- 豊中市では千里中央公園において、「千里中央公園再整備における活性化事業」の公募により選定された民間事業者と公民連携による整備を推進。

「千里中央公園再整備における活性化事業」とは

- ・公園の魅力向上をめざし、豊中市と公募選定された千里中央公園パートナーズ※が、R4.4から進めている公民連携事業
- ・千里中央公園パートナーズが提案内容に基づき、活性化プログラムの企画・運営、公園自動車駐車場の管理・運営、収益施設の設置・運営を実施

※エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社、株式会社ローソン、NTT西日本関西支店の3社で構成

千里中央公園パートナーズにより、旧公園管理事務所をリノベーション
千里中央公園の賑わい創出拠点として生まれ変わった施設
(R5.3.30オープン)



1000RE SCENES(センリシーンズ)



1階 イタリアンカフェ「SEN°C(センド)」



コミュニティスペース「LABO」

豊中市HPより